

在校生からのメッセージ

『入学から半年が経って・・・』 (看護学科 1年生 A)

令和3年度に入学した A です。看護学科では、病院勤務と学業の両立により忙しい日々です。私もそうですが、子どもをもつ学生も数名います。

しかし、学業と看護業務を同時に経験することで、多くの学びが得られます。また、時間を有効に使う習慣が付き、充実した日々を送っています。大変なこともありますが、クラスメイト達との協力、先生方の温かく献身的なサポートに支えられています。より良い看護の知識の習得と技術の向上に励みつつ、国家試験全員合格を目指しています！



『人が好き』で『誠実な人』集まれ！ (准看護学科 1年生 夢みるシンシアママ)



社会人歴20年の私がこの学校を選んだのは、人に頼られる看護師になりたかったから。看護師は人の命を救うやりがいのある仕事ですし、一生働ける仕事です。ここは創立以来合格率100%なので、間違いなく目標を達成できると思いました。様々な経歴を持つ年代の違う仲間たちと、支え合いながら日々学べること、またいつも親身になって私たちの成長を促してくれる先生方。自然と実力がつく工夫されたカリキュラムで、常にエビデンスを意識した学習内容となっており、気がつくとも成長できているのがファビオラ看護学校の良い所だと思います。

卒業生からのメッセージ

「色々な人に支えられました」 (看護学科 令和2年度卒 N)

私は2021年3月にこの学校を卒業し、今は中津市内の病院で働いています。社会人を経験してからの入学だったので、始めは不安でした。幅広い年齢層の人がいましたが、同年代の人もいてすぐに仲良くなることができました。

国家試験勉強では、学内の先生だけでなく、講師の先生にも遅くまで講義をしていただきとても心強かったです。

また、学内の先生には勉強のことだけでなく、個人的な相談にも乗ってもらいました。そのおかげで国家試験に合格できたと思います。この学校で学ぶことが出来て良かったです。



「なりたい看護師への懸け橋」 (准看護学科 令和2年度卒 白衣の卵)



もともと医療関係の仕事をしてきましたが、資格を持って働きたいと思い入学しました。私が一番印象強く残っているのは、臨地実習です。初めての事だらけで大変な事も多いですが、その分得られたものも多いです。「患者さんのために何ができるのか」「看護とは何なのか」日々の実習の中で、指導者や教員、そして患者さんから多くのことを学べます。2年間学ぶ中で、悩みや不安も出てきます。しかし、この学校の先生方は熱い方ばかりです。医学的知識・技術だけでなく看護師に必要な態度や、臨床現場で大切な応用力を教えて下さり看護の道へと繋いでくれます。「こんな看護師になりたい」と自分の看護師像を見つけられた、あっという間の2年間だったと感じ

ています。

私は今、本校の推薦制度を利用し看護学科へと進学しています。頑張りがしっかりと評価される制度があったため、チームメイトでもありライバルでもあるクラスの皆と頑張ることができ「一歩踏み出してよかった」そう思えるかけがえのない2年間は私の宝物です。